

磐梯山の固有種？ バンダイクワガタ

漢字で「磐梯鋏形」と書き、花冠中央から長い1本の雌しべと2本の雄しべが突き出ている形が兜の飾りの鋏形に似ているのが名の由来です。

初夏の磐梯山を歩くと、登山道脇に青紫色の小さな花を見かけます。この時期、花好きの方に人気の「バンダイクワガタ」です。いくつかの図鑑やHPを見ると「磐梯山の固有種（特産種）」（※1）と紹介されていて、当施設スタッフもそう思っていました。しかし、過日、福島大学の磐梯朝日遷移プロジェクトの研究調査報告書の中に「バンダイクワガタは、（中略）磐梯山にだけ生える固有植物ではないと考えられる」という研究結果（※2）を見つけました。そこで、この報告の発表者である根本秀一さんと黒沢高秀さん（福島大学共生システム理工学類）に「当施設の自然解説員として今後どのように説明すれば良いのか」という質問をしたところ、下記のような回答をいただきました。

バンダイクワガタは、1879年に東京大学の松村任三（NHK連続テレビ小説「らんまん」の中では、徳永助教授）が磐梯山で採集した標本を元に、牧野富太郎が1910年、キクバクワガタ（北海道からサハリンにかけて分布）の変種として発表しました。

その後の調査や遺伝解析の結果、同じ植物は越後山脈や奥羽山脈の各地からも見つかっており、磐梯山にだけ生える固有植物ではないことが分かりました。しかし、この変種が命名される基準となった自生地（タイプロカリティといいます）であり、ほかの生育地とくらべて、比較的容易に観察できる場所にありますので、大切に守っていききたい植物です。

磐梯山の上部では、オレンジ色の花が咲くコウリントンポポという外来植物が大繁茂し、バンダイクワガタの生育を脅かしています。裏磐梯など磐梯山周辺ではコウリントンポポの栽培を自粛したり、駆除活動に参加するなど、防除にご協力いただければ幸いです。

調査や研究が進んだことで新たな発見があり、「磐梯山の固有種」とは言えなくなったことは残念ですが、研究者の日々の努力によって、真実が解き明かされていくことは本当に素晴らしいことです。しかしながら、磐梯山を含めた限られた地域に分布する貴重な植物であることに変わりはないので、今後も大切に守っていかなくてはなりません。

※1 特定の国や地域にしか生息・生育・繁殖しない生物学上の種

※2 根本秀一・黒沢高秀・山下由美・加藤沙織・兼子伸吾

「広義キクバクワガタ（オオバコ科）の系統解析 - バンダイクワガタの復活なるか？ -」磐梯朝日遷移要旨 2016

<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/bandai-asahi-project/2016032535.pdf>

▼コウリントンポポ防除の様子
NPO 法人 裏磐梯エコツーリズム協会 提供



自然解説員の巡視日記

桧原湖



桧原湖畔探勝路

桧原湖の南東側の湖畔に沿って歩く舗装された平坦なコースです。北側入口（裏磐梯サイトステーション）から南側入口（長峯舟付バス停）まで片道約4.4km、ゆっくり歩いて約1時間半ほどです。

「湖畔」と聞くと展望の開けた水辺を歩くように思いますが、探勝路のほとんどが林の中で展望はあまりありません。しかし、桧原湖の向こうに磐梯山（爆裂カルデラ）がとてもきれいに見えるビューポイントはおすすめです。また、木陰と湖からの風とで夏でも涼しいことがうれしい探勝路です。

途中に吊り橋があり、冬期間（11月中旬～4月中旬）は板が取りはずされるため、通行禁止になります。国道459号線（小野川湖入口バス停）～裏磐梯サイトステーションの区間は北塩原村のコミュニティバスしか運行されていないため、コース全体を歩きバスを使って周回することが難しいので、どちら側の入口から歩きはじめても、吊り橋までを往復することが多いようです。バスの運行時刻は磐梯東都バス HP や北塩原村 HP で確認してください。

ゆきむろ エコな冷房「雪室」でひんやり体験！



裏磐梯ビジターセンターには、冬の間に積もった雪を雪室に貯蔵し、夏に自然に優しい「エコな冷房」として活用しています。

例年施設周辺では1～2mほどの積雪があり、その雪を2月頃に重機で雪室に入れています。その量は約360㎡、重さはなんと約180t！

常時開放している「見学室」では雪室から出てくる冷たい空気を感じたり、貯蔵された雪を窓越しに見ることができます。また、希望に応じて雪室正面の大扉を開放します。目の前に現れる雪の壁と、そこから溢れ出る冷気に、驚くこと間違いなし！お気軽にスタッフへお声がけ下さい。

環境省裏磐梯自然保護官事務所主催イベント 子どもパークレンジャー 募集！

7/22(土)

9:00～15:00

第1回

『五色沼を巡る水の謎を解き明かせ！』

場所：裏磐梯ビジターセンター・五色沼探勝路

裏磐梯の景勝地、五色沼探勝路をトレッキングしながら、五色沼の水の不思議を考えます。どこからどこへ水は流れている？色の違いは？生きものは何がいいた？などなど、裏磐梯ビジターセンターでは水になりきって旅に出かけるゲームも体験します。

9/30(土)

9:00～15:00

第2回

『秋の五色沼散策と
裏磐梯ビジターセンター大冒険』

場所：裏磐梯ビジターセンター・五色沼探勝路

色めく秋の五色沼を散策しながら、植物や動物などを見つけて歩くビンゴをします。色やかたちなど、第1回で歩いた探勝路との違いを見つけます。その後、10月より改修工事のため閉館となる裏磐梯ビジターセンターのバックヤードを探検し、過去の貴重なお宝を大搜索します。

※集合・解散は裏磐梯ビジターセンターになります。
※移動手段にお困りの方は、個別にご相談ください。

申込方法

① 電話またはメールでご連絡ください。
☎0241-32-2221 ☒ RO-URABANDAI@env.go.jp
※メールの場合は件名に「JPR申込」と入力願います。

② 事務局より申込書を郵送またはメールでお送りします。

③ 申込書をご返送（ご返信）下さい。⇒ **受付完了**

④ 実施要項および資料などを郵送またはメールでお送りします。

保護者の皆さまへ

『子どもパークレンジャー事業』は環境省の自然保護官（レンジャー）の仕事体験を通して、身近な自然を体感し、自然の大切さや生き物のつながりについて学ぶ活動です。今回は『水』と『動植物』をテーマに、日本を代表する自然の風景地である磐梯朝日国立公園の自然環境の素晴らしさを体験活動を通して学習します。また、普段交流のない他地域の子ども達と一緒に活動を行うことで、社会性の育成も目指し、身近な自然やふるさとの大切さを感じ、仲間と共に協力する心を養います。

Junior Park Ranger

子どもパークレンジャー
募集！

全2回開催

第1回

2023年

7.22(土)

第2回

2023年

9.30(土)

※どちらか1回の参加も可能ですが、内容が異なりますので、是非2回ともご参加ください。

申込バッチ

7.13(木)

申込方法については、裏面をご覧ください

国立公園で働くレンジャーの仕事体験してみよう！

五色沼探勝路の植物や生き物調査したり！

仲間と協力して自然の不思議を整理したり！

「子どもパークレンジャー」とは

国立公園のパークレンジャーのお仕事体験を通して自然にふれあい、自然保護や環境保全の大切さを学ぶ活動です。今回は、磐梯朝日国立公園のレンジャーと一緒に活動します。

※活動内容に、五色沼探勝路のトレッキングなど、野外活動が含まれます。

対象	小学 3～6 年生
定員	25 名（先着順）
参加費	各回 300 円
・保険代 ・材料費 等	特典としてレンジャーグッズをプレゼント！

主催 環境省裏磐梯自然保護官事務所 ☎ 0241-32-2221 ☒ RO-URABANDAI@env.go.jp

改修工事に伴う長期休館のお知らせ

裏磐梯ビジターセンターは開館から約 20 年が経過し、屋根や外壁の老朽化が著しく、展示内容の更新も必要なため、大規模な改修工事を行います。令和 5 年 10 月頃から長期休館（1 年程度）を予定しています。具体的な休館の日程については裏磐梯ビジターセンター HP をご覧ください。

ツキノワグマ 目撃情報

クマ目撃 MAP

お問い合わせは「北塩原村農林課」まで tel 0241-23-1334

レンタルグッズ

レンタルグッズ

長靴

¥ 500

	レンタル料金	補償金
3 施設共通 クマ鈴	¥ 100	+ ¥ 1000
	(補償金は返却時に返金)	

・貸出時間はビジターセンター開館～閉館まで

・日付をまたいだレンタルはできません

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峰 1093-697
【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】http://www.urabandai-vc.jp/
【入館料】無料【開館時間】9:00～17:00
【休館日】毎週火曜日（お盆期間は無休）（2023 年 10 月頃より 1 年間休館予定）



ウェブサイト



Instagram



Twitter

裏磐梯だより 2023 年 7 月 No.120 [企画・発行] 裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会

裏磐梯だより

No.120

2023 年 7 月



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター



裏磐梯図鑑 No.35

磐梯山の固有種？ バンダイクワガタ

自然解説員の巡視日記

桧原湖畔探勝路

「ツキノワグマ」

ウワミズザクラの果実（さくらんぼ）を食べていました。クマが座っている場所を「クマ棚」といい、枝を折って食べる過程でつくられます。

ようこそビジターセンターへ
ゆきむろ
エコな冷房「雪室」でひんやり体験！

写真提供 T.Takashima